

令和 2 年 9 月 5 日
予 報 部

台風第 10 号の今後の見通しについて

～台風要因の特別警報発表の見通し～

大型で非常に強い台風第 10 号は、中心気圧 930 hPa で 6 日夜のはじめ頃から 6 日夜遅くにかけて鹿児島県（奄美地方を除く）に接近または上陸するおそれがあり、6 日昼過ぎには暴風域に入る見込みです。このため、6 日午前中に鹿児島県（奄美地方を除く）に暴風、波浪、高潮特別警報を発表する可能性があります。

台風第 10 号の今後の見通しについて、別添の通りお知らせいたします。

問合せ先：予報部 業務課 電話 03-3211-8302

台風第10号の今後の見通しについて

～台風要因の特別警報発表の見通し～

報道発表資料
令和2年9月5日20時00分
気象庁

鹿児島県に特別警報発表の可能性

- 大型で非常に強い台風第10号は、中心気圧930hPaで6日夜のはじめ頃から6日夜遅くにかけて鹿児島県(奄美地方を除く)に接近または上陸するおそれがあり、6日昼過ぎには暴風域に入る見込みです。
- これまでに経験したことのないような暴風、高波、高潮となるおそれがあります。また、記録的な大雨となるおそれもあります。このため、6日午前中に鹿児島県(奄美地方を除く)に暴風、波浪、高潮特別警報を発表する可能性があります。
- 一部の住家が倒壊するおそれもある猛烈な風が吹く見込みですので、暴風が吹き始める前に頑丈な建物の中に移動するとともに、屋内では窓から離れるなど暴風に最大級の警戒をしてください。高波や高潮についても最大級の警戒をしてください。
- 高潮や洪水の浸水想定区域や土砂災害警戒区域などでは、暴風が吹き始める前の6日の午前中に、避難をすることが重要です。
- 鹿児島県以外の地域でも記録的な大雨・暴風・高波・高潮となるおそれがあり、最大級の警戒が必要です。
- 地元気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、自分の命、大切な人の命を守るために、地元市町村が発令する避難勧告(警戒レベル4)等に従って早め早めに身の安全を確保してください。

※お住まいの場所が安全な場所か否かハザードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所への移動のほか、安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる人は自宅の外への避難をためらわないでください。

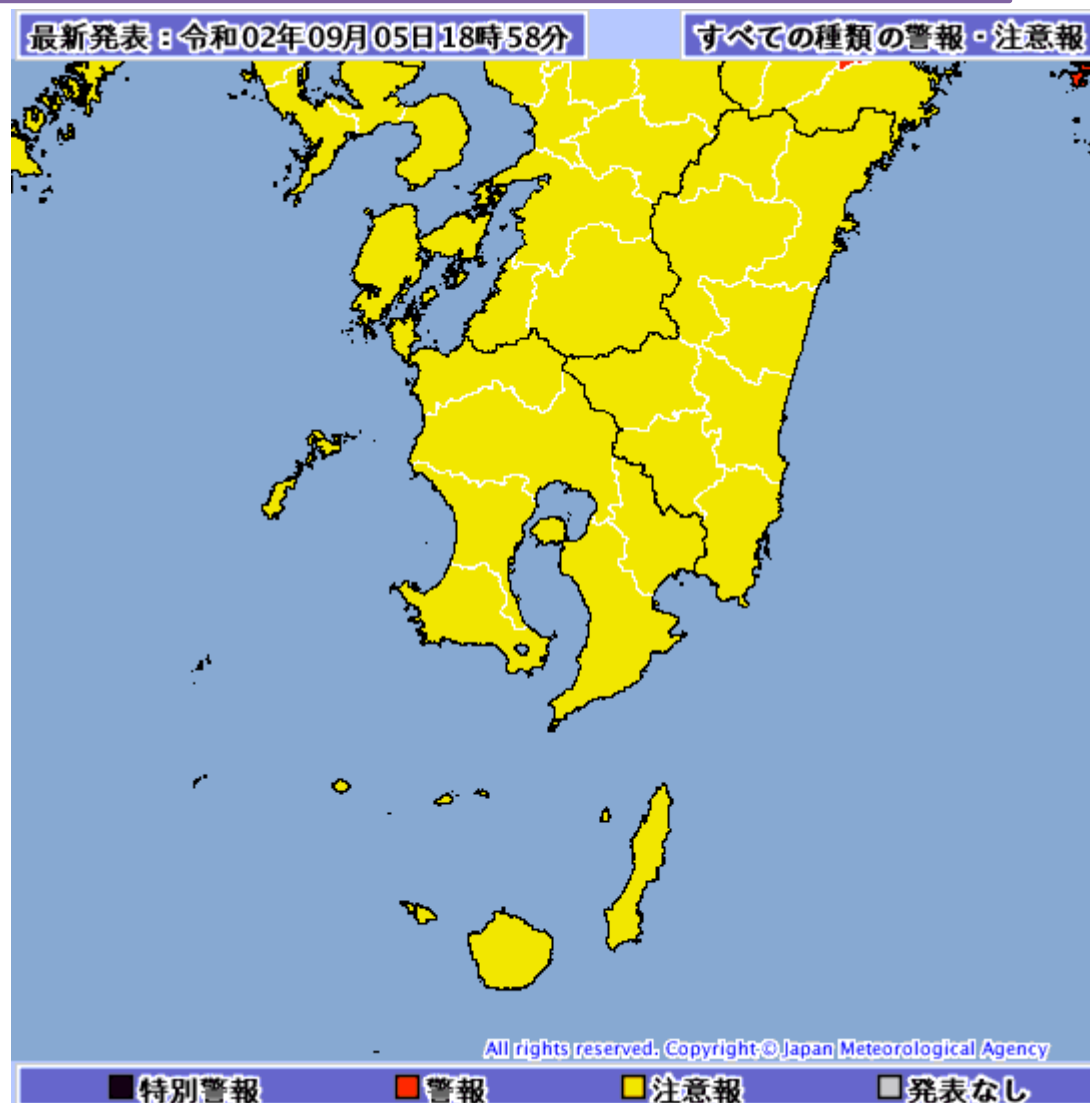
- 特に、現在夜間であることから、周囲の状況を十分に確認して行動してください。

9月5日
19時時点の資料

警報・注意報の発表状況

鹿児島県に発表中の
警報・注意報

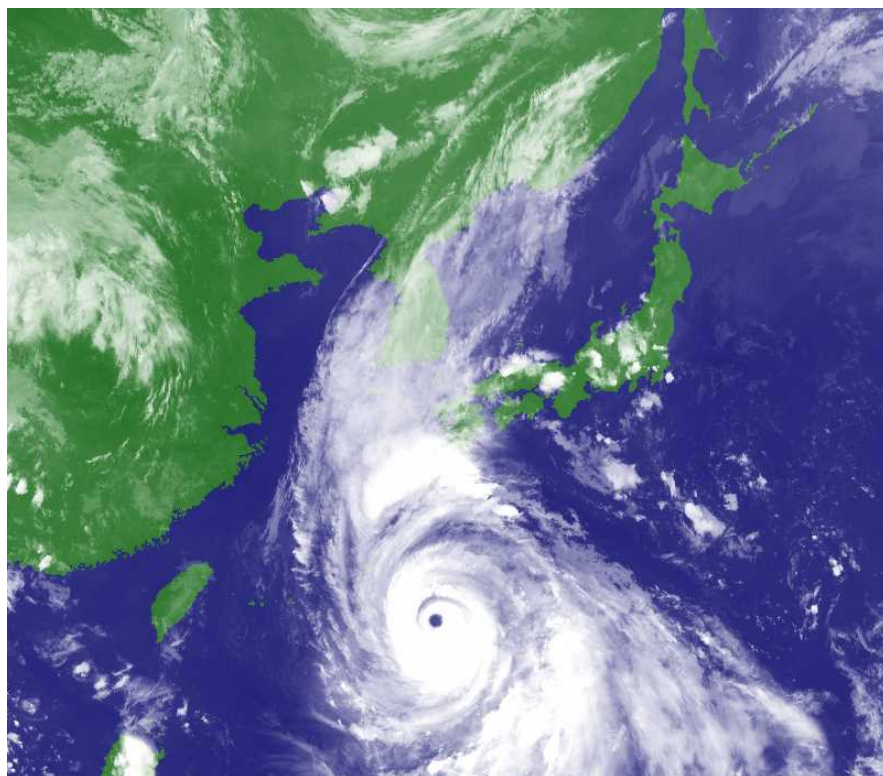
大雨注意報
洪水注意報
強風注意報
波浪警報・注意報
高潮注意報
雷注意報



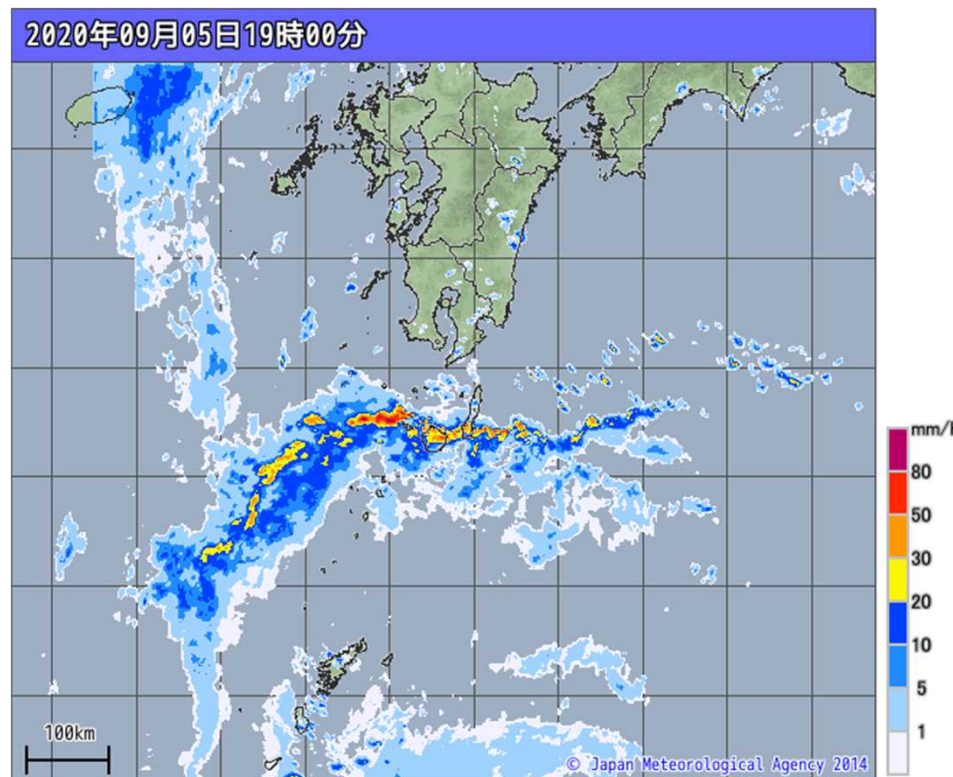
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

気象実況・今後の見通し(1)

9月5日
19時時点の資料



気象衛星(赤外画像)
(5日19時)



雨雲の様子
(5日19時)

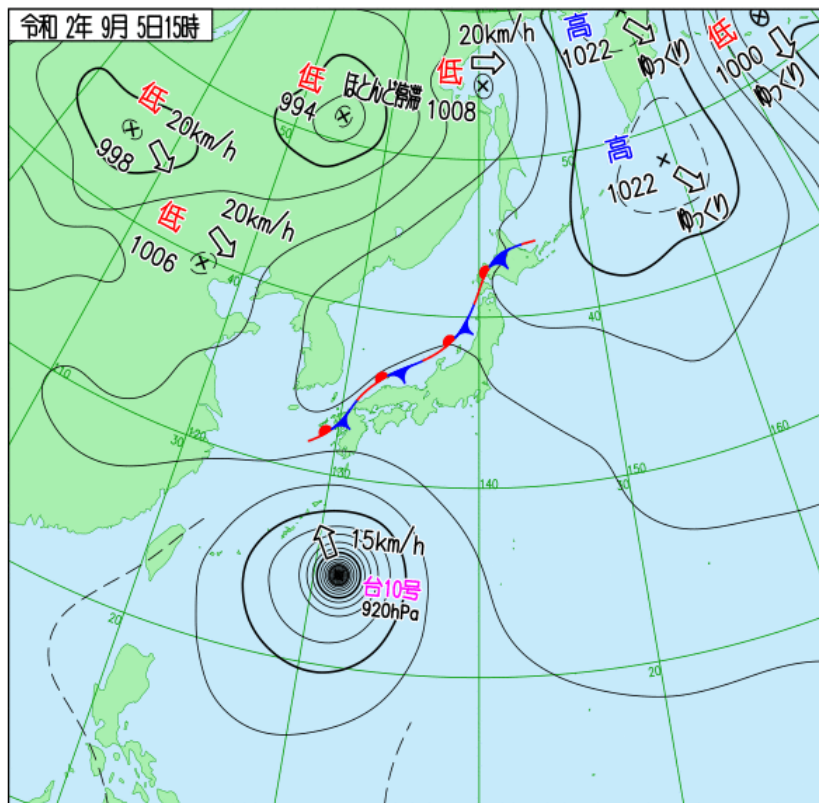
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(天気図：<https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

(雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)：<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)

気象実況・今後の見通し(2)

9月5日
19時時点の資料



実況天気図 (5日15時)

薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では、6日夜のはじめ頃から7日にかけて一部の住家が倒壊するおそれがある猛烈な風が吹き、沿岸の海域では6日昼前からうねりを伴った猛烈なしけとなるおそれがあります。

また、記録的な高潮となるおそれがあります。

薩摩地方では6日夕方から局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、大隅、種子島・屋久島地方では6日夜のはじめ頃から局地的に雷を伴った猛烈な雨が降り、記録的な大雨となるおそれがあります。

6日にかけて予想される

最大風速(最大瞬間風速)

45メートル(65メートル)

波の高さ(うねりを伴う)

14メートル

7日18時までの48時間雨量(多い所)

500～800ミリ

高潮の警戒期間 6日から7日にかけて

鹿児島県における 風、波、雨、高潮の見通し

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

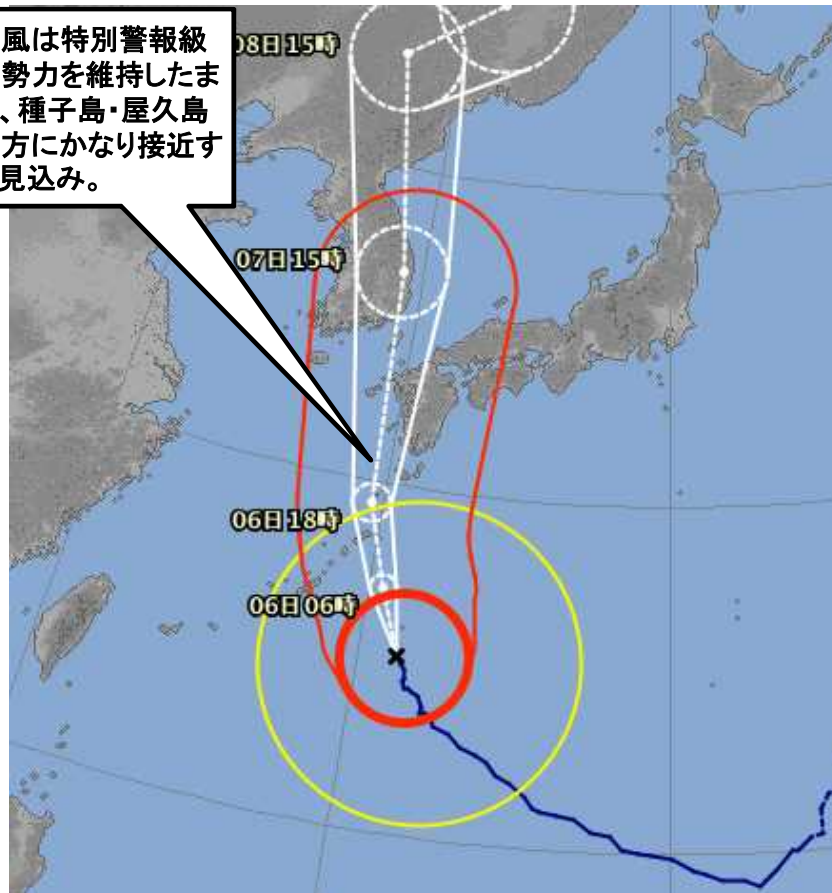
(実況天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/>)

(気象情報(雨の見通しなど): <https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

台風の見通し

9月5日
19時時点の資料

台風は特別警報級の勢力を維持したまま、種子島・屋久島地方にかなり接近する見込み。



台風経路図
(5日18時)

大型で非常に強い台風第10号は、5日18時には南大東島の南約90キロの北緯25度00分、東経131度10分にあつて、1時間におよそ15キロの速さで北北西へ進んでいます。

中心の気圧は920ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は50メートル、最大瞬間風速は70メートルで中心の東側240キロ以内と西側185キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。

24時間後の6日18時には屋久島の南西約140キロの北緯29度25分、東経129度30分を中心とする半径65キロの円内に達する見込みです。

中心の気圧は920ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は50メートル、最大瞬間風速は70メートルが予想されます。予報円の中心の東側340キロ以内と西側250キロ以内では風速25メートル以上の暴風域に入るおそれがあります。

台風予報

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報: <https://www.ima.go.jp/jp/typh/>)

以下 補足資料

大雨・暴風・高波・高潮の今後の見通し

9月5日
19時時点の資料

【大雨の見通し】（単位：ミリメートル）

地域	5日18時～6日18時の 24時間雨量	6日18時～7日18時の 24時間雨量	7日18時～8日18時の 24時間雨量
関東甲信地方	100	100～200	100～200
東海地方	180	300～400	200～300
近畿地方	120	300～400	100～200
中国地方	60	100～150	およそ50
四国地方	100	300～400	50～100
九州北部地方	200	300～500	100～150
九州南部	300	500～800	50～100
奄美地方	400	100～200	およそ50
沖縄地方	300	およそ50	およそ50

【暴風・高波の見通し】（単位（風）：メートル毎秒（波）：メートル）

地域	6日		7日	
	最大風速 （最大瞬間風速）	波の高さ	最大風速 （最大瞬間風速）	波の高さ
東海地方	15 (25)	6	15～19 (20～30)	7
近畿地方	15 (25)	6	20～24 (25～35)	8
中国地方	18 (30)	2	25～29 (35～45)	6
四国地方	20 (30)	9	20～24 (25～35)	10
九州北部地方	25 (35)	9	40～50 (55～70)	10
九州南部	45 (65)	14	40～50 (55～70)	12
奄美地方	50 (70)	14	30～40 (40～60)	11
沖縄地方	50 (70)	14	10～14 (20～25)	6

日時		5日 ～6	6日 6～24	7日	8日	9日
関東甲信地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
伊豆諸島	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
東海地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
近畿地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
中国地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
四国地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
九州北部地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
九州南部	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
奄美地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					
沖縄地方	大雨					
	暴風					
	波浪					
	高潮					

大雨、暴風、波浪、高潮の警報級となる
可能性のある期間（5日17時時点）

（■可能性がある、■可能性が高い）

※最新の「早期注意情報」等をご確認ください！

段階的に発表される防災気象情報の活用例



「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

暴風による災害への備え

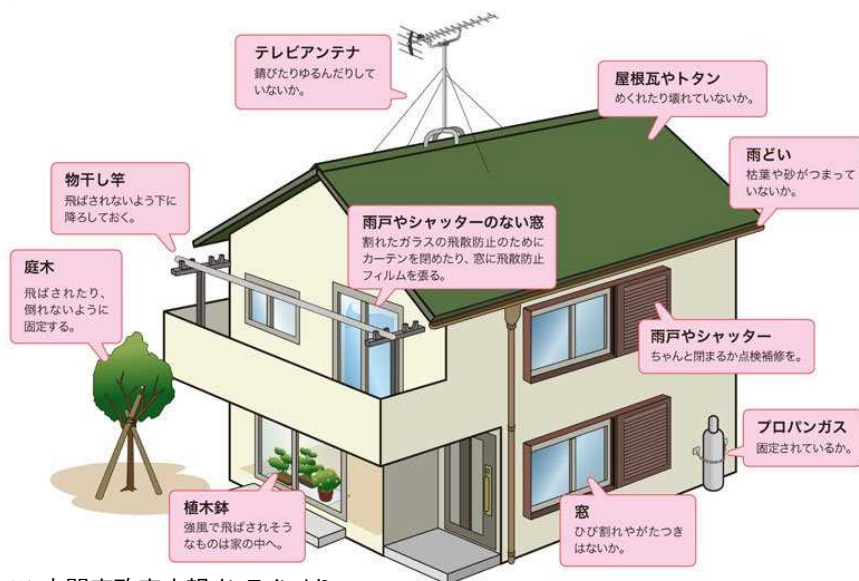
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		〇〇日								〇〇日		
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	以後も注意報級
	海上	0	12	20	25	35	30	15	10	10		

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の 様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				

35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。		外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

(参考) 近年の主な暴風による災害

平成30年台風第21号

- 大阪府田尻町関空島（関西空港）では最大風速46.5メートル、最大瞬間風速58.1メートルを観測。
↓
- 死者14人、負傷者980人、住家全壊68棟、半壊833棟、一部損壊97,009棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年8月20日現在）
- タンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生。
※荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会 報告書（平成31年3月）
- 近畿地方を中心に最大停電戸数約224.7万軒の大規模停電が発生した。
※台風21号による停電について（第56報）関西電力（平成30年9月10日）

令和元年房総半島台風

- 千葉県千葉市では最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルを観測。
↓
- 千葉県を中心に、住家全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年12月23日現在）
- 鉄塔2基の倒壊、1,996本の電柱が倒壊・損傷により、千葉県を中心に最大停電戸数約93.5万軒の大規模停電が発生した。
※令和元年台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループ＜中間報告書＞（令和2年1月21日）



令和元年房総半島台風
（経済産業省提供資料）



平成30年台風第21号
（海上保安レポート2019より）



令和元年房総半島台風
（気象庁職員撮影）

高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市			今後の推移(■ 警報級 ■ 注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別			4日								5日		
			3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)		0										
	(浸水害)											浸水注意	
	(土砂災害)												
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12		
		海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15		
波浪	波高 (メートル)		1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5		
高潮	潮位 (メートル)		0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5				
雷													
												竜巻	

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

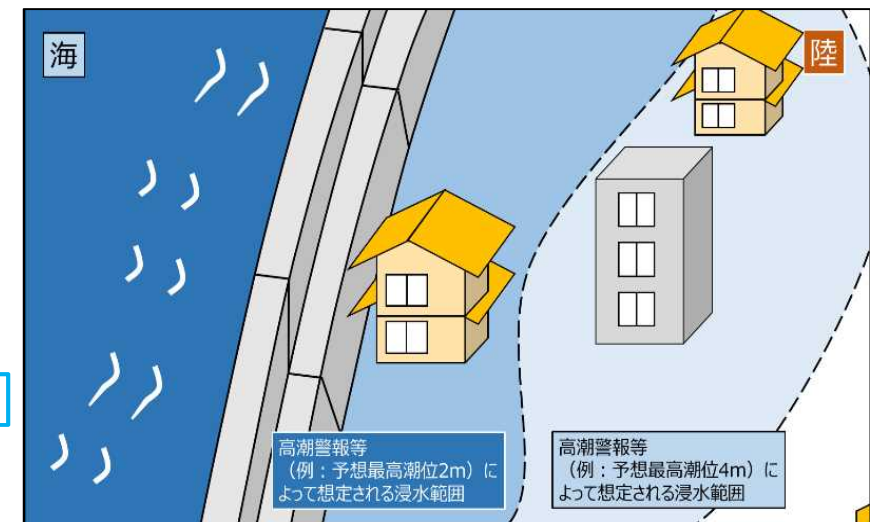
※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

ピークは4日16時頃

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



(参考) 過去の主な高波による災害

平成16年台風第23号

- 室津波浪観測所※(高知県室戸市)では最大波高13.55メートルを観測。 ※国土交通省港湾局の波浪計
- 高知県室戸市の菜生(なばえ)海岸において海岸堤防が約30mにわたって倒壊。越波等により背後の家屋13戸が被災し、3名の方が亡くなった。堤防を乗り越えた水塊が背後の家屋等を被災させるとともに、堤防の倒壊・流失により被害を拡大させた。(国土交通省河川局海岸室ホームページより)

平成30年台風第21号

- 神戸波浪観測所※(兵庫県神戸市)では最大波高4.72メートルを観測。 ※国土交通省港湾局の波浪計
- 神戸港ポートアイランドでは、潮位は岸壁の天端高を超えず、越波で浸水した。尼崎西宮芦屋港南芦屋浜地区では、潮位は護岸の天端高を超えず、越波により住宅地が浸水した。(大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会 最終とりまとめより)



平成16年台風第23号

(出典：菜生海岸災害調査検討委員会 第1回資料より)



兵庫県芦屋市涼風町
住宅地の浸水
写真：芦屋市提供

平成30年台風第21号

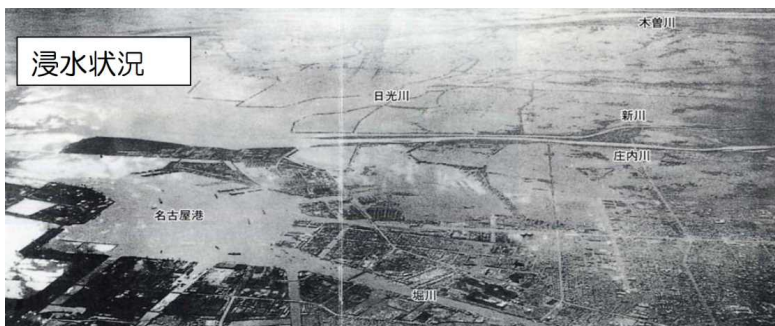
(参考) 過去の主な高潮による災害

伊勢湾台風 (昭和34年)

- 伊良湖(愛知県渥美町)では最大風速45.4メートル、最大瞬間風速55.3メートルを観測。名古屋港では潮位389cmを観測。
- ↓
- 死者4,697名、行方不明者401名、負傷者38,921名、住家全壊40,838棟、半壊113,052棟、床上浸水157,858棟、床下浸水205,753棟等の被害が発生。 ※消防白書より
 - 紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、特に愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水、三重県では桑名市などで同様に高潮の被害を受けた。

平成11年 (1999年) 台風第18号

- 牛深(熊本県牛深市)では最大風速27.7メートル、最大瞬間風速66.2メートルを観測。大浦(佐賀県)では潮位301cmを観測。
- ↓
- 死者31名、負傷者1,218名、住家全壊338棟、半壊3,629棟、床上浸水4,895棟、床下浸水14,755棟等の被害が発生。 ※消防白書より
 - 九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過時に著しい高潮となり、熊本県不知火町では高潮により12名が死亡した。



伊勢湾台風

(出典：国土交通省木曽川下流工事事務所『自然と人のかかわり－伊勢湾台風から40年－』)



平成11年 (1999年) 台風第18号

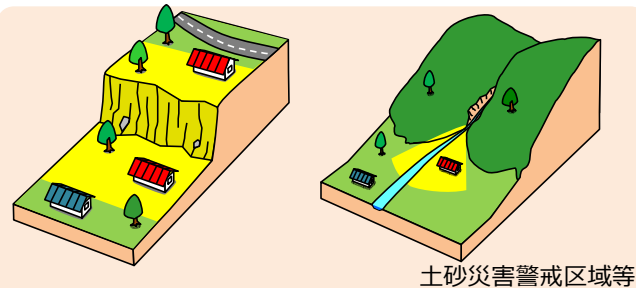
(出典：建設省九州地方建設局)

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

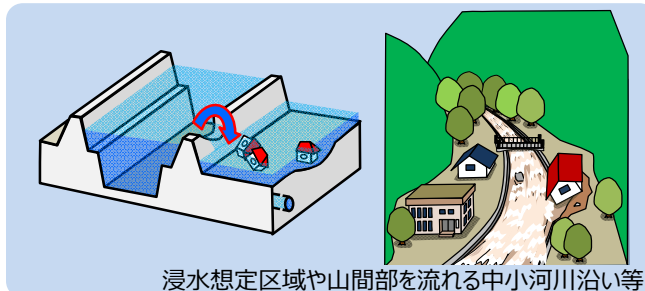
土砂災害



浸水害

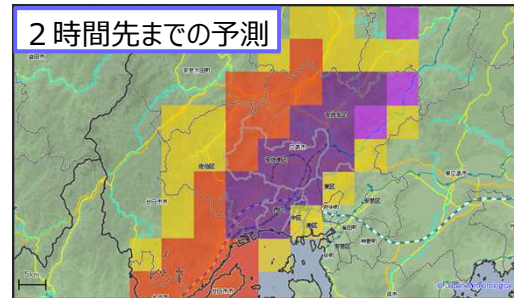


洪水災害

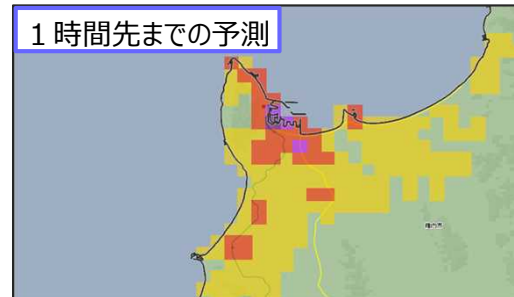


危険度分布

2 時間先までの予測



1 時間先までの予測



3 時間先までの予測

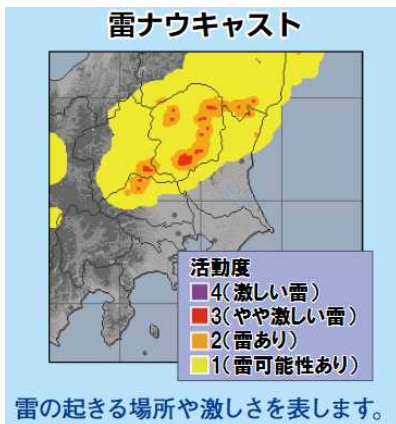
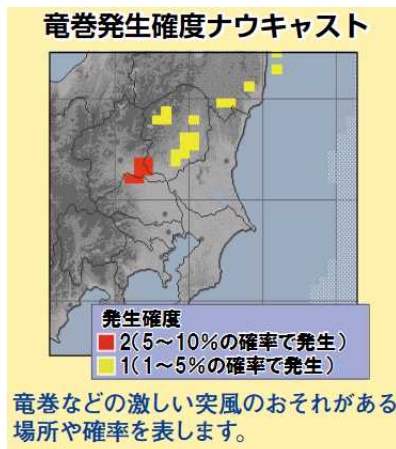


災害の例



突風や雷による災害への備え

- 台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風や落雷に注意が必要。
- 竜巻発生確度ナウキャストや雷ナウキャストなどの防災気象情報を活用し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には身を守るための行動を。



日本版改良藤田スケールにおける階級と風速の関係

階級	風速 (3秒平均)	主な被害の状況 (参考)
JEF0	25～38m/s	・物置が横転する。 ・自動販売機が横転する。 ・樹木の枝が折れる。
JEF1	39～52m/s	・木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離する。 ・軽自動車や普通自動車が横転する。 ・針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53～66m/s	・木造の住宅の小屋組(屋根の骨組み)が損壊したり飛散する。 ・ワンボックスの普通自動車や大型自動車が横転する。 ・鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 ・墓石が転倒する。 ・広葉樹の幹が折損する。
JEF3	67～80m/s	・木造の住宅が倒壊する。 ・アスファルトがはく離したり飛散する。
JEF4	81～94m/s	・工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離したり脱落する。
JEF5	95m/s～	・低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊する。

関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

- 危険度分布（どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）

土砂災害

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

浸水害

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

洪水

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）

<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html

- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）

<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

- 最新の気象データ（雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

- 14か国語による防災気象情報の提供

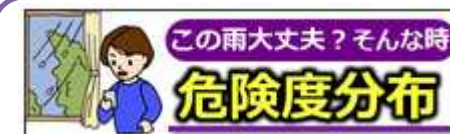
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/campaign.pdf

- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）

<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



気象庁防災情報
Twitter

@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開
設しました。台風接近や大雨の
おそれがある場合等に、現況や今後の
見通し、防災上の留意点、緊急会見
の内容等を解説します。